

建設緑政局民間活用事業者選定評価委員会多摩川緑地部会摘録

日 時 令和7年8月26日（火）午前9時30分～10時45分

場 所 川崎市役所本庁舎17階 建設緑政局会議室

対象施設 多摩川緑地バーベキュー広場、多摩川緑地パークボール場

出席者 <委員（敬称略）>

東京農業大学地域環境科学部教授 水庭 千鶴子

東海大学政治経済学部教授 前田 成東

公認会計士 渡辺 仁

中小企業診断士 佐藤 卓

<事務局>

建設緑政局緑政部

部長 磯部 由喜子

建設緑政局緑政部みどり・多摩川事業推進課

課長 坂 祥士郎

担当係長 辻 良亮

担当 山口 朋恵

傍聴者 0名

議 題

- （1）令和6年度における多摩川緑地バーベキュー広場の管理運営に係る年度評価（公開）
- （2）令和6年度における多摩川緑地パークボール場の管理運営に係る年度評価（公開）

議 事

1 委員紹介等

2 部会長の選出

（市附属機関設置条例に基づき、委員の互選により、水庭委員が部会長に選出）

3 会議の公開・非公開の決定

（川崎市審議会等の会議の公開に関する条例に基づき会議を公開することについて、異議なし）

4 会議録の作成方式

（要約方式で作成することについて、異議なし）

5 会議録確認者の決定

（全委員で確認することについて、異議なし）

6 発言者名・発言内容の原則開示

（発言者名・発言内容を開示することについて、異議なし）

7 事務局発言の許可

(事務局から発言を求める場合は、委員長の許可を得た上で発言することについて、異議なし)

8 令和6年度における多摩川緑地バーベキュー広場の管理運営に係る年度評価

(1) 事務局からの資料説明

(2) 質疑

【前田委員】

5年度と比較して評価段階が変わっている評価項目について、変更の理由を説明してもらいたい。

【事務局】

収支計画・実績の「金銭管理や会計処理が適切に行われているか。」の項目について評価2だったところ3に変更している。5年度は当部会にて評価確定後に、事業者から収支報告の訂正の申し出があり、基準より低い2評価を行ったが、6年度は仕様書通り適正に処理が行われていたため評価を3に変更している。

組織管理体制の「安全安心への取組」項目について、5年度は災害時を想定した訓練を行ったり、警備をしたりしたことにより大きな事件・事故は1件もなかったことを評価して4評価としていた。6年度は8月の増水時には撤去対応等ができなかったが、ここまでの増水被害が想定しづらい急な大雨であったことから標準通りの3評価としている。

組織管理体制の「環境負荷の軽減」項目については、5年度は新たな取り組みを多く実施したことから大幅に標準を上回る5評価としていたが、一部取組は5年度だけの実施だったこと、また6年度実施した内容は前年度の取組を継続する内容であったため4評価としている。

【前田委員】

事業報告書の中で廃棄物量の推移を見ると6年度のみ一般廃棄物の排出量が0になっているが、これはどういうことか。指定管理者の努力によってごみが減った等、評価に影響があるか。

【事務局】

汚れたプラスチック等の分別が厳しくなり、6年度は一般廃棄物として出せるごみがなく0になっている。指定管理者の努力によって全体のごみの量が減った等ではないため、評価することではないと考えている。

【渡辺委員】

収支がマイナスの状況で、経費削減は十分取り組んでおり、これ以上の削減はサービス基準の低下につながる可能性があり厳しいだろうと推測される。また災害も避けられないところでもある。災害が少なく、利用者が少ない時期に集客できるような収支を改善させる取組が必要だと思われるが、指定管理者の方で何か考えていることはあるか。

【事務局】

7年度の取組にはなるが、8・9月限定で今まで営業していなかった夕方にバーベキューができるナイトプランを試行的に実施している。

【渡辺委員】

夜の営業は多少利用が増えるかもしれないが暑い時期で難しい部分であり、クレームにつながる可能性もあると思う。今も努力してもらっているところではあるが、現在のレベルを落とさずに、人を集めるイベントの開催なども検討し収支改善に取り組んでいただきたい。

【佐藤委員】

ナイトプラン含め提案事業が段々あがってきているのが良い傾向だと思う。5年度は収支状況がプラスだったところ、6年度はマイナスになっている。8月の冠水により消耗品を再購入する必要がなければ、黒字の見込みだったのか。また、今後同様の被害を受けないため、または被害を最小限にするために、どのような対策を考えているか。

【事務局】

御指摘のとおり、被害がなければ黒字の見込みだったと指定管理者から報告を受けている。また、被害が大きならないための対策としては、消耗品をできるだけまとめ買いしないこと、また河川敷でないレンタルスペースに置くなどで対策している。近年台風でないのに増水するケースなども見受けられるので、事業者と共に対策していきたい。

【佐藤委員】

経費削減の対応として、12月から2月の平日を休場にすると報告書に記載があるが、これは増水被害によって6年度に実施した措置なのか、それともこれから先もずっと継続する取組なのか確認をお願いしたい。また、冬は利用者が減ってしまう傾向にあるが、冬にアウトドアで楽しめるような企画提案をお願いしたい。例えば山形県では各企業が河原などで芋煮イベントをやっている。このように川崎としての地域で楽しめる名物があっても良いと思う。

【水庭委員】

佐藤委員から具体的な話もあったので、冬場の活用を検討することについては年度評価のどこかに書き加えてもらいたい。

【事務局】

承知した。

【水庭委員】

大きな事件・事故が1件もなかったこと、また近隣商店街との連携が進んでいることについては大変良かったと思う。増水時の対策については、利用者や従業員の安全のためにも、早めに取り組んでもらいたい。梨の剪定枝を使う取組については引続き取り組んでもらいつつ、川崎市には緑地がたくさんあり、その恩恵を受けていることを利用者にPRしてもらいたい。また、市外の利用者は把握しているのか。

【事務局】

市外の利用者については、利用者アンケートのQ2で項目を設けており把握している。6割が川崎市内から来ている。回答数が少ないところではある。

【水庭委員】

引続きアンケートも充実させてもらいたい。

【佐藤委員】

年度報告書の安全対策の記載で、非常に多くの人が18時以降の飲食・花火等で来ていることが分かる。適正な業務実施の「保安業務」項目の評価段階が4になっているが、ここの説明はこれだけ多くの人が来ているのに対し大きな事件・事故が0件だったというような記載にした方が良いと思う。一方で、これだけ多くの方が来ているということは、告知が足りないのではないか。もしくは小さな花火なら良いなどとするなど改めて検討してもらいたい。

【事務局】

都市公園条例では手持ち花火であれば良いとしている。また飲食も禁止していない。いずれも大人数で来ている場合や騒いでいるなど、騒音等の近隣の迷惑になりそうな場合にのみ声掛けをしている。

【佐藤委員】

「飲食・花火を断念して帰っていただいた」など報告書の表現からは、花火・飲食が禁止されているように読み取れる。適切ではないので、変えた方が良いのではないかな。

【事務局】

修正する。

【前田委員】

利用者アンケートについて、Q6～8に満足度を聞くような項目がある。7と8にはないが、6には「普通」という選択肢がある。6～8が不統一であるということと、「普通」という真ん中の項目があるとそれを選んでしまう傾向にあるので、満足度を聞くアンケートでは極力普通を作らないほうが良いので、指定管理者に伝えてもらいたい。また、町田市では指定管理者が行うアンケートについてマニュアルを作っている。意見にはなるが、川崎市で指定管理者に対するアンケートに関するマニュアルがないようであれば、全庁の会議等で一度議論してもらいたい。

【佐藤委員】

アンケートで電子マネー導入してもらいたいという意見がある。今はどこでも利用できるのに、手数料等の課題はあると思うが、導入について一度前向きに検討してもらいたい。

【水庭委員】

他に意見はないか。事務局も評価について補足等はないかな。

<全員賛成>

【水庭委員】

それでは一部文言の修正を除き、評価については原案のとおりとする。

9 令和6年度における多摩川緑地パークボール場の管理運営に係る年度評価

- (1) 事務局からの資料説明
- (2) 質疑

【渡辺委員】

東京都民の利用者率が約20%と高い理由は何か。

【事務局】

団体での利用があること、また近隣にパークゴルフができる場所がないことが要因だと聞いている。

【佐藤委員】

「効率的・効果的な支出」項目について、基準を上回る4評価としているので、スタートマットを自社で作ったこと以外に取り組んだことがあれば書き加えてもらいたい。また利用者アンケートを見ると、回答者の8割が新規の方であることがわかる。これを見ると、アンケートで「またプレーしたい」と回答しながらも、リピートして来ている方が少ないようだ。新規利用者を増やすことも大事だが、リピーターをどうやって確保していくかという課題が残っていると考える。リピート率の目標などがあれば教

えていただきたい。

【事務局】

「効率的・効果的な支出」項目については、新しくバミューダグラスの植替え業務に取り組んでいる中で黒字を達成しているところなどもあるので、追記を検討したい。また、利用者アンケートは新規利用者を中心に声掛けをしているため、新規利用者の回答割合が多くなっている。リピーターになっていただくことは同じく課題だと思っている。

【前田委員】

年度報告書の意見・苦情対応の記載について、例えば「検討します」「協議します」と記載されているところがあるが、検討・協議の結果を書いてもらいたい。また、昨年度の部会の中で、よみうりランドにパークボール場パンフレットを設置していることについて効果測定をするために、利用者アンケートでパークボールを知ったきっかけのところで「よみうりランドで知った」というような項目を追加してはどうかと意見したが、これに対しての検討結果は報告書に記載があるのか。

【事務局】

報告書には記載がないと思われる。御意見いただいたことについては指定管理者に共有している。現状アンケート項目を増やす対応はしていないが、河川敷イベントで無料券を配布した際などこのイベントに参加していた人が無料券を利用して来場したか判別できるよう工夫している。

【前田委員】

今後も把握できるよう努めてもらいたい。

【渡辺委員】

事業報告書の収支決算の記載について、支出に関して予算との比較や前年度との比較ができる表にしてもらいたい。分析の時に重要なポイントとなる。

【事務局】

事業者に伝える。

【佐藤委員】

同じく収支決算の記載について、「粗利益」という言葉を使っているが利益計算をしてわけではなく適切でないため、「収支差額」などと修正してもらいたい。また、緑化フェア開催に伴い花壇を作ったかと思うが、これをきっかけとして今年度以降も続けてもらいたい。例えば4半期ごとに違う花を植えるなど、いつ来ても花が見られる環境を作ってもらおうと興味のきっかけになり、より良いイメージがつくのではないかと思う。

【事務局】

事業者に伝える。

【水庭委員】

イベントで無料券を配ったことを年度評価に記載しているが、ここだけ「一部」の人がパークボール場に来場したというあいまいな書き方になっているので、具体的な数字を記載してもらいたい。実際に何人の方が来たのか。また、無料券については、例えば近くのコンビニやよみうりランドに置くことなど検討してもらいたい。

【事務局】

両イベント合わせて14人の方が来ている。無料券についての御意見は事業者に伝える。

【水庭委員】

他に意見はないか。事務局も評価について補足等はないか。

<全員賛成>

【水庭委員】

それでは文言を適宜修正してもらい、評価点については原案のとおりとする。

閉会